

公益財団法人長寿科学振興財団
令和5年度長寿科学研究者支援事業 長生きを喜べる長寿社会実現研究支援
お問合せと回答（7月21日までの回答）

1. 公募内容について

お問合せ1：

10月から現在の大学から海外の大学に所属が変わります。その際に経理を海外の大学の経理に依頼してよろしいか？また申請書を英語で提出してよろしいかのご教示の程よろしくお願い申し上げます。

回答1：

本公募の申請については、公募要領5. 応募要件（8ページから9ページ）に記載の要件を満たす必要がございます。特に提案者（プロジェクトリーダー）は、国内の団体に所属し、当該団体においてプロジェクトを実施する体制を組成する事としております。従いまして、国外の団体に所属する方からの提案は残念ながら受け付けておりません。

なお、プロジェクトリーダー以外の方については、国内外問わず、また団体の種別などの条件はございません。公募要領に記載の要件を満たしていただければ結構です。

また、申請書については日本語での提出をお願いします。

お問合せ2：

提案者が、所属する団体が整備した臨床研究従事者研修制度の認定を受けていることは、「研究倫理教育に関するプログラムを予め修了していること」の応募要件として満たしておりますでしょうか。本制度は倫理審査委員会の審議における臨床研究に関する教育要件として利用されており、研修内容には倫理講義も含まれております。

回答2：

提案者が所属する団体において提供されているプログラムですので、問題ございません。

お問合せ3：

研究倫理教育に関して、公募資料8ページの「科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得—」（日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会）のWEBページにある、研究倫理eラーニングコース(e-Learning Course on Research Ethics)[eL CoRE] (<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>) の受講を行う予定ですが、こちらで問題ございませんでしょうか？

回答3：

問題ありません。ご提案いただくプロジェクトの内容に適した科目やコースを履修

ください。履修内容についても必要と判断されたもので結構です。また、履修方法に指定はありません。履修対象者の所属する団体で適宜ご対応ください。

2. 助成金について

お問合せ 1 :

1. プロジェクト総事業費が設定されており、ステージAの場合は年/1,000万円以上、Bは年/3,000万円以上となっており、各年度の事業費を最低でもこの金額以上とする必要がございますでしょうか？（これをクリアすることで助成金額の上限が、ステージAは年/1,000万円、ステージBは年/3,000万円）
2. 「プロジェクト総事業費」について、明確な説明がございませんのでご教示いただきたく。このプロジェクトを遂行するために係る経費の直接経費分だけなのか、間接経費も含むのか？また、プロジェクト総事業費には、本プロジェクト遂行の他からの財源分も含めますでしょうか？

回答 1 :

1. 当財団から採択したプロジェクトに助成する金額はステージ毎に上限が設定されております。また、本事業が採択するプロジェクトは主課題の達成のための課題解決となる研究開発から社会実装までデータ等の証拠に基づいた一気通貫の課題解決型のプロジェクトであり、①社会的インパクトがあるか②持続可能かつ実効性があるか③学際的であるプロジェクトを求めていることから、各ステージ毎にプロジェクト総事業費の下限を設けております。ただし、ご提案いただくプロジェクト総事業費が各ステージに設定された総事業費の下限を下回ることで提案が無効になることはございません。
2. 助成金の額はプロジェクト経費（いわゆる直接経費）と間接経費の合算です。プロジェクト総事業費の額は、当財団からの助成金（プロジェクト経費と間接経費）と当財団以外からの財源による資金（プロジェクト経費と間接経費）の合算です。Aステージ・Bステージのプロジェクト総事業費には当財団の助成金以外の財源による資金を含めることは必須ではございませんが、Cステージ・Dステージは助成率を設けていることから、それらを求めています。

3. 提案書の作成について

お問合せ 1 :

様式4の6. プロジェクト体制を構成する者の情報の、業績リストにつきまして、業績20件以内（研究開発代表者分、主たる共同研究者分合計で20件以内）というのは、プロジェクトリーダー、プロジェクトチームを構成する者全員、各共同プロジェクトグループ 代表者の全ての業績の中から合計で20件までという認識で正しかったですでしょうか？

あるいは、プロジェクトチームを構成する者や、主たる共同研究者以外の共同研究者の業績は、20件とは別途各構成者の欄に記載するのがよいでしょうか？

回答 1 :

様式4の6.プロジェクトの体制を構成する者の情報の「業績リスト」は、①プロジェクトリーダーの業績、②プロジェクトチームを構成する者のそれぞれの業績、③共同プロジェクトグループ代表者の業績をそれぞれの欄に20件以内で記載ください。プロジェクト体制を構成する者の人数が多い場合、提案様式4はできる限り10ページ以内となるよう作成ください。なお、どうしても超えてしまう場合、研究者の業績リストについては[researchmap](#)や[J-GLOBAL](#)などの当該研究者ページのURLにより参照いただく事も可とします。

お問合せ2：

「プロジェクト提案書」の承諾者について、団体の長とされておりますが、本学では助成金の応募の際は通常医学部長の承諾としております。本件は医学部長での承諾でも可能でしょうか。学長指定の場合はその旨をご教示願います。また、本学では助成金については個人管理を推奨しておりますが、本助成事業は研究者の個人管理は可能でしょうか。機関管理が必須であれば要領の通り取扱いを確認致します。

回答2：

提案者が所属する組織としてプロジェクトを実施することを承認できるお立場であれば「総長（学長）」の他、「学部長」、「研究科長」、「病院長」など部局長でも構いません。

また、助成金の個人管理は不可です。事務処理要領に記載のとおり採択後は提案者の所属する団体の指定口座に助成金を振込みます。したがって、提案者の所属する団体が事務処理要領5の要件を満たすよう助成金の運営・管理をお願いします。

お問合わせ3：

Aステージに応募する予定ですが、ビジネスモデルキャンバスに記載する目標はBステージまでのものでよろしいでしょうか。

回答3：

様式1「プロジェクトの全体構想」の項の青文字記入要領に記載のとおり、プロジェクトとは開始するステージからDステージ：展開を目指す構想及び計画のことを指します。また、「2.プロジェクトで達成する目標」の項の青文字記入要領に記載のとおり、目標とはDステージ：展開を目指すものです。したがって、ビジネスモデルキャンバスに記載する「目標」はDステージ：展開を見据えた目標を記載ください。

お問合せ4：

様式3-2の「本人受給研究費」は、本人が所属しているプロジェクトチーム全体の金額を記載するのでしょうか。それとも、所属するプロジェクトチームの中での本人の金額のみを記載するのでしょうか。

回答4：

様式3-2の他制度等からの助成情報についてはプロジェクトリーダーおよび共同プ

プロジェクトグループ代表者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費等の額、エフォート等を記入してください。研究代表者としてだけでなく、共同研究などにより分担研究者として助成金の配分を受けている、または受ける予定で申請している・申請予定であるものの情報を記載ください。

お問合せ 5 :

ビジネスモデルキャンバスの中に「プロジェクトで達成する目標」と「プロジェクトで達成すべき事項」があります。「プロジェクトで達成する目標」は、状態目標、「プロジェクトで達成すべき事項」はKPIと理解していますが、合っていますでしょうか。様式1もその理解で作成しています。

回答 5 :

そのご理解で問題ございません。

お問合せ 6 :

提案書の最終段階にあります。様式1プロジェクト概要についての質問です。1,000字以内の文字制限があり、その文字数内で作成しているのですが、挿絵があるとプロジェクトイメージが伝わりやすいと考えてます。1000文字以内の文章に挿絵を一つ加えることは可能でしょうか？

回答 6 :

様式1の「1.プロジェクトの概要」について文字数制限は設けておりますが、その他の項目も含めて、様式1を10ページを超えない範囲でまとめていただければ結構です。従いまして、様式1の作成においてご提案いただくプロジェクトの内容を図表等を用いて伝わりやすく工夫いただく事は問題ございません。

4. その他

お問合せ 1 :

研究助成契約の種類により、間接経費の額が大きく変わります。契約の種類について判断したいと思いますので、契約書のひな型をご提供いただくことは可能でしょうか。

回答 1 :

助成金交付契約書のひな型を採択前にお示しすることは不可としております。